

平成29年度（第6回）定時総会資料

第1号議案

議事録署名人選出の件

第2号議案

平成28年度事業報告および収入支出決算報告並びに
監査報告承認の件

日時 平成28年5月28日(土) 10時～14時50分

場所 千葉市美浜区若葉2-10-1

千葉県立保健医療大学 大講義室

内容 総会式典 10:00～10:40

特別講演 10:40～12:20

「これからの栄養士・管理栄養士が求められるもの

～成果に結びつくエビデンスの活用～」

講師 栄養サポートネットワーク

代表 安達 美佐

総会議事 13時10分～14時50分

出席者数 990名(内委任状860名)

平成28年度事業報告

1. 平成28年度定時総会の開催

平成28年度定時総会は、千葉県健康福祉部健康づくり支援課課長、佐野彰：千葉県議会議員・顧問をはじめとする9名の来賓をお迎えして式典を行い、引き続いて特別講演（栄養士・管理栄養士研修会）、総会議事を次のとおり開催した。

平成28年度事業報告

事業番号	事業の内容
公1	県民の健康と食事・栄養摂取の実態および栄養指導・食事療法の事例・症例に関する調査研究、栄養指導・食事療法に関する技法の開発、「食の宝庫千葉」の食材に培われた伝統的な食文化の継承と発展、県民の健全な食生活を彩る料理・献立の考案と普及、公衆衛生施策の立案への参画などとおして、食と栄養の科学および実用技術の振興を図る事業
定款上の根拠	第4条第1項第1号
事業の種類(認定法別表)	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
1号	本事業は、保健・医療・福祉および教育等の領域において、栄養指導と食事療法を掌る栄養士・管理栄養士の実務とおして得られる科学上の知見に立脚して、調査、研究および技術開発を行い、医学・農学・家政学等に跨る食と栄養の学術および科学技術の振興(公益法人認定法別表1号)を図るものである。
6号	本事業は、「事業の内容」欄に記載した一連の取り組みなどとおして、保健・医療・福祉などの領域における食と栄養の科学および実用技術の振興(公益法人認定法別表1号)を図り、もって公衆衛生の向上(公益法人認定法別表6号)に寄与することを目的とする。
事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】	
<p>本事業は、県民の食と栄養および健康・栄養指導・食事療法に関する調査などに取り組むものである。大きくは、4つの柱からなり、(1)1つ目の柱は、調査および資料の収集である。調査および資料の収集の主要な対象は、第1に県民の健康と栄養の実態、第2に、栄養指導・食事療法の事例や症例などである。(2)2つ目の柱では、調査および資料の収集を踏まえ、栄養指導と食事療法に関する研究および技術開発を行う。(3)3つ目の柱では、食と栄養の科学の見地から、千葉県の新鮮な食材を生かした伝統的な料理・食文化の継承発展、県民の健康的な食生活を彩る献立・レシピの考案などを行う。(4)4つ目の柱は、千葉県および千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進である。いずれの柱も、本会ならではの研究および技術開発活動である。これらの事業により、県民の健康を衛る食と栄養の科学および実用技術の振興を図る。</p> <p>以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公1の事業を構成するものである。</p> <p>以下に平成28年度事業の実施概要を記載する。</p>	
I. 食と栄養の科学および実用技術の振興を図る事業(定款第4条第1項第1号)	
1. 栄養・健康に関する調査研究事業	
1-1 栄養指導研究所の運営(学術部)	
<p>栄養士・管理栄養士の栄養指導・食事療法の技術の開発・研究への支援や普及などに関する事業を充実させ、それをもとに食と栄養を通じた県民の健康づくりの進展に寄与することを目指すため、各職域事業部における研究業務の推進及び栄養士・管理栄養士の研究業務の推進と研究論文の作成の指導、千葉県栄養改善学会の企画などの充実に努めた。また、栄養千葉に「栄養指導研究所だより」の執筆、千葉県栄養士会雑誌の企画・立案、ホームページ「現代食事考・かしこく食べる」の見直しなどを行った。</p> <p>【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③調査、研究 ④栄養士・管理栄養士、大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】</p>	
2. 栄養指導・食事療法に関する研究および技術開発と振興	
2-1 千葉県栄養改善学会の開催(学術部)	
<p>栄養学と栄養改善技術に関する最新の知見に基づく講演・シンポジウム、栄養士・管理栄養士による研究発表などを行う学会を開催して、さまざまな職域分野で働く栄養士・管理栄養士の研究を集約し、よりおいしく安全な食事作りや効果的な栄養指導・給食管理・食事療法などの充実を図ることを目指した。平成28年度は、平成29年2月4日(土)千葉県立保健医療大学において、「食習慣が及ぼす口腔機能～摂食嚥下を理解する～」と題し、千葉県立保健医療大学講師麻賀多美代氏による特別講演と「食の安心・安全を考え</p>	

る～感染症や食品衛生の観点から～」と題した聖徳大学教授植木幸英氏の教育講演を実施した。また会員からの一般口演（24演題）と協賛会員による優良商品の展示を行った。参加者数は139名であった。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③研究・開発 ④大学研究者、栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

2-2 「食育媒体の作成と開発」の実技研究会の開催（福祉）

食育媒体の考案と作製、実演の仕方を学ぶことにより、食育指導技術の向上を目的に実技研修会を9月14日(水)千葉市民会館において開催した。30名が参加して「手のひらシアター」の媒体を作製し、実演方法を学んだ。講師は長年、継続的にご指導いただいている手芸家であり食育指導士の板良敷信子氏にお願いした。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③研究・開発 ④講師は食育指導士 ⑤単独 ⑥非該当】

2-3 事例研究会の開催（地域活動）

県民の健康と食事・栄養摂取の実態および栄養指導・食事療法の事例・症例に関する調査研究、栄養指導・食事療法に関する技法の開発を目指し、さまざまなライフスタイルに即した指導方法の研究に努めることとし、28年度は29年2月19日(日)に本会事務所で、栄養指導・食事指導に不可欠な食品成分表の活用について、千葉県立保健医療大学教授渡邊智子氏に指導を受け、13名（会員外1名）が参加して実施した。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③調査、研究 ④専門家 ⑤単独 ⑥非該当】

2-4 千葉県栄養士会雑誌の発行（広報部）

さまざまな分野で働く栄養士・管理栄養士に最新の情報と知識を伝え、業務に活用することを目的として、食や栄養に関する学術文、栄養改善奨励賞受賞者の発表内容、各職域の実践事例報告、活動だよりなどを掲載し、栄養千葉発行に併せて3回（4月、8月、12月）発行した。記事は、県民や会員外の栄養士・管理栄養士も読むことができるようにホームページに掲載するとともに、事務所掲示板に掲示した。

【①県民、栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③雑誌発行 ④委員会で企画・編集 ⑤単独 ⑥非該当】

2-5 栄養士調理師合同研究発表会の開催（医療）

病院で共に働く栄養士・管理栄養士と調理師が、日頃の治療食や栄養指導などに関する研究を発表して、その事例や知見を普及し治療期間の短縮、疾病の再発防止、および、病院給食の質の向上に役立てることを目的に、10月16日(日)に千葉大学医学部附属病院において51名が参加して開催した。内容は、研究発表7題と特別講演として「がん患者への栄養食事指導に参画するためにより良い指導・介入を目指して」と題し、淑徳大学看護栄養学部栄養学科教授 桑原 節子氏による講演を行った。

【①栄養士・管理栄養士、調理師 ②事務所掲示板、ホームページ ③調査、研究 ④専門家 ⑤単独 ⑥非該当】

3. 食文化の継承発展と健康的な食生活を営むレシピの開発

3-1 「『地産地消』レシピ」の考案と普及（事業部）

健康づくりや食育の推進と千葉県の豊かな食材の活用、食文化の継承・発展に役立てることを目的に、平成27年度の食育健康料理教室の実施にあたって考案したレシピのうち、広く普及することが必要と思われるレシピを四季に分類し、ホームページに地産地消レシピとして掲載した。

【①県民、栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③開発 ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

4. 千葉県および千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進

4-1 千葉県の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進（総務部）

千葉県の行う健康づくりに関する各種委員会・会議等に参加し、専門職能集団としての立場から意見を述べ、健康づくり施策の推進に協力した。平成28年度の各委員会・会議は以下のとおり。

千葉県食育推進県民協議会、健康ちば地域・職域連携推進協議会、千葉県アレルギー対策協議会、千葉県米消費拡大推進協議会、千葉県食品等安全・安心協議会、千葉県留置施設委員会、千葉県「健康ちば協力店」推進協議会、千葉県介護専門協議会、千葉県介護予防市町村支援検討会議、千葉県福祉審議会臨時委員会、千葉県摂食嚥下ネットワーク、食物アレルギーによるアナフィラキシー対策作業部会

【①県民 ②県の諸施策の公開、広報による ③調査・政策立案 ④政策関係の専門的知見を有する者 ⑤協力 ⑥非該当】

4-2 千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進（千葉地域）

千葉市の行う健康づくりに関する各種委員会・会議などに参加し、専門職能集団としての立場から意見を述べ、健康づくり施策の策定に協力した。28年度の委員会・会議は以下のとおり。

千葉市健康づくり推進協議会、千葉市地域保健医療協議会、健やか未来都市ちばプラン推進協議会、千葉市学校給食センター運営委員会、千葉市在宅医療推進連絡協議会

【①市民 ②千葉市の諸施策の公開、広報による ③研究・政策立案 ④政策関係の専門知識を有する者 ⑤協力 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的として実施した。このことは、定款第3条、同第4条第1項第1号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにしている。

事業の実施に当たっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるように、調査・研究結果の刊行物での公表、ホームページへの登載、その内容へのアクセスを可能とする措置を講じた。

事業内容には、栄養士・管理栄養士の専門的知見を反映させた。事業実施にあたっては、適宜、関連科学の定評のある研究者（大学教員）、専門職、その他の専門家の指導を受け、もしくは、これらと共同して、理論および実用性の両面において高い質の確保に努めた。

その他、県民の健康を衛る食と栄養の総合的かつ実践的な科学および技術の振興を図ることをとおして公衆衛生の向上に寄与する目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を実施した。

事業番号	事業の内容
公2	系統的・発展的な卒後教育・生涯教育の推進および養成教育への支援などにより、栄養指導・食事療法のたしかな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士を育成する事業
定款上の根拠	第4条第1項第2号
事業の種類(認定法別表)	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
6号	<p>本事業は、「事業の概要」の欄に記載した一連の取り組みなどとおして、栄養指導・食事療法のたしかな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士を育成し、もって公衆衛生の向上（公益法人認定法別表6号）に寄与することを目的とする。</p> <p>健康増進法（平成14年8月2日法律第103号）第3条は国および地方公共団体の責務として「健康の増進にかかる人材の養成および資質の向上を図る」ことをあげているところであり、栄養士・管理栄養士として、有為の人材を育成する事業は、かかる公益上の要請に適うものである。</p>
事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】	
<p>この事業は、栄養指導・食事療法の確かな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士を育成するために各種の研修などに取り組むものである。</p> <p>栄養士・管理栄養士の人材育成事業であり、3つの柱から成り、(1)1つ目の柱は、基幹研修制度で、中核事業が継続教育・生涯教育研修会である。すべての栄養士・管理栄養士を対象として実施する、系統的で発展的な内容の教育・訓練・学習からなる研修事業である。(2)2つ目の柱は、職域研修制度である。特定職域や特定種類の業務を対象に、専門職業人の技能と心の深耕・発展を図る研修を行う。(3)3つ目の柱は、公益目的事業の人的基盤を強化する事業である。これらの取り組みにより、栄養指導・食事療法の確かな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士の育成に努めた。</p> <p>以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公2の事業を構成するものである。</p> <p>以下に平成28年度事業の実施概要を記載する。</p>	
Ⅱ. 健康づくりに貢献する栄養士・管理栄養士を育成する事業（定款第4条第1項第2号）	
1. 継続教育・生涯教育事業—基幹研修制度	
1-1 生涯教育研修会の開催（学術部）	
<p>栄養士・管理栄養士は科学の進歩と社会の変化に対応するために、常にスキルの向上を図り、専門職としての能力の習熟が求められる。そこで従来から行ってきた生涯学習から、キャリア形成を支援できる制度とするために、平成26年度から生涯職能開発の考え方を取り入れた生涯教育制度へ移行された。目的は、「単位」や「認定」の取得にあるのではなく、栄養士・管理栄養士として国民のために役立てる能力を身につけることである。生涯教育は「栄養の指導」の専門職として各領域で必須とされるスキルを習得するための基幹教育と、専門とする分野ごとに専門性を高める拡充教育がある。基幹教育は基本研修と実務研修に分けられ、平成28年度は基本研修として必須科目5単位を含む9単位と実務研修7単位を6月11日(土)、7月3日(日)、8月6日(土)、9月25日(日)、10月15日(土)の5日間にわたって千葉市文化センター、千葉商工会議所において開催した。受講者数は138人で、延べ取得単位は1,194単位であった。</p> <p>開催に際しては、開催案内をホームページに掲載するなどして広く、栄養士・管理栄養士の参加を募った。</p> <p>【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講演・セミナー ④講師は管理栄養士、医師等の関連職種、大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】</p>	
1-2 日本栄養士会との共同研修事業の実施（事業部、地域活動）	
<p>（公社）日本栄養士会との共同で栄養士・管理栄養士として対応すべき全国的課題を素材に、地域性を生かして実践できる技術・能力を身につける研修事業として、平成28年度は「生活習慣病予防のための食生活セミナー」を11月27日(日)に三井ガーデンホテル千葉で開催し、92名が参加した。</p> <p>内容は、講演2題で「高齢社会における油脂の役割～高齢者の栄養補給から物忘れ防止まで～」として東洋大学健康栄養学科教授近藤和男氏、「中鎖脂肪酸の脳機能への影響について」として日清オイリオグループ株式会社研究員野坂直久氏からうかがい有意義な講演であった。</p> <p>【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講演・セミナー ④講師は管理栄養士、医師等の関連職種、大学研究者 ⑤共催 ⑥非該当】</p>	
1-3 保健指導担当者等業務向上研修会の開催（学術部）	
<p>保健指導担当者のスキルアップのための研修は、生涯教育研修会に組み入れて実施した。</p> <p>【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講座・セミナー ④講師は大学教授または専門家 ⑤単独 ⑥非該当】</p>	
1-4 栄養士・管理栄養士研修会（総会時特別講演）（総務部）	
<p>定時総会時に当該年度の栄養士・管理栄養士の活動を考えるうえでの基本的な事柄について講演をいただくことを目的に、平成28年度は総会式典終了後に、「これからの栄養士・管理栄養士に求められるもの～成果に結びつくエビデンスの活用～」と題して、栄養サポートネットワーク代表安達美佐氏に講演をいただいた。</p> <p>【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講座・セミナー ④講師は大学教授または専門家 ⑤協力 ⑥非該当】</p>	

ブロック名	期 日	内 容	会 場	出席数
さざなみ	平成28年 7月11日(月)	(1) 健康福祉センター業務検討会 「食品表示について」 (2) 市町村業務検討会 「成人事業について」	市 原 市 保 健 セ ン タ ー	17名
	9月26日(月)	(1) 研修報告 「第6回日本栄養士会災害支援チーム (JDA-DAT) リーダー育成研修会」 木更津市健康推進課 子安 薫 (2) 業務検討 【健康福祉センター業務検討会】 「災害時の栄養・食生活支援について ～給食施設に対する支援について～」 【市町村業務検討会】 「母子事業の内容説明 (指導法や媒体について)」	君 津 健 康 福 祉 セ ン タ ー	19名
	平成29年 2月27日(月)	(1) 健康福祉センター業務検討会 「給食施設栄養管理状況報告書の活用について」 (2) 市町村業務検討会 「母子事業の問診票 (乳児健診、1歳6か月児健診、 3歳児健診) の活用について」	安 房 健 康 福 祉 セ ン タ ー	15名
千 葉 市	平成28年 11月7日(月)	高齢期の健康課題を把握する方法について (1)	千 葉 市 総 合 保 健 医 療 セ ン タ ー	14名
	12月14日(水)	高齢期の健康課題を把握する方法について (2)	千 葉 市 総 合 保 健 医 療 セ ン タ ー	10名

医療事業部

(1) 中央研修会

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成28年 4月24日(日)	研 修 会	講演 「診療報酬改定の概要について」 講師 日本栄養士会医療事業部 企画運営委員長 石川 祐一	千葉市商工会議所	63名
7月3日(日)	第1回 プラクティス セミナー	講演 「動画で見る高齢者の嚥下障害の実践的対応」 講師 西山耳鼻咽喉科医院 院長 西山 耕一郎	千葉大学医学部 附属病院外来診療棟 セミナー室3	51名
12月11日(日)	第2回 プラクティス セミナー	講演 「高齢者糖尿病の特徴と治療について ～新しい血糖コントロール目標～」 講師 千葉大学予防医学センター 臨床予防医学領域 栄養代謝医学分野 准教授 櫻井 健一	千葉大学医学部 附属病院外来診療棟 セミナー室3	71名

(2) 地区研修会

地 区	開催日	内 容	会 場	出席数
千 葉 地 区	平成28年 10月8日(土)	「摂食嚥下」 講師 千葉市立海浜病院 看護部 平 恭子	井上記念病院	12名
	平成29年 1月7日(土)	「健康体操」、グループ討議 講師 健康運動療法士 藤牧 由華	井上記念病院	3名
東 葛 南 部	平成28年 6月25日(土)	「見て、食べて、体験して学ぶ嚥下食実践セミナー」 講師 ニュートリー株式会社 多田 未来	京 葉 ガ ス 市川ショールーム	16名
	11月5日(土)	「見て、食べて、体験して学ぶ嚥下食実践セミナー」 講師 ニュートリー株式会社 管理栄養士 鈴木 亜紀	海 神 公 民 館	4名
	平成29年 1月28日(土)	東葛南部地区 情報交換会	海 神 公 民 館	4名
東 葛 北 部	平成29年 2月24日(金)	「抗がん剤治療の副作用を知り栄養管理に応用しよう」 講師 辻中病院柏の葉 薬剤科 科長 佐藤 将嗣	さ わ や か 千 葉 県 民 プ ラ ザ	18名
印 旛	平成28年 9月6日(火)	「リハビリ栄養について」 講師 株式会社クリニコ 相田 美香、先名 夢果	佐 倉 ミ レ ニ ア ム セ ン タ ー	9名
	平成29年 2月18日(土)	「食べて実感！嚥下食実践セミナー」 講師 ニュートリー株式会社 鈴木 亜紀、多田 未来	佐 倉 ミ レ ニ ア ム セ ン タ ー	10名
香 取 海 匝	平成28年 6月26日(日)	「ロコモティブシンドロームの運動処方とその実践」 講師 松浦 良行	匝 瑛 市 生 涯 学 習 セ ン タ ー 会 議 室・多 目 的 ホ ー ル	9名
	12月7日(水)	「新調理システムについて」、施設見学 講師 旭中央病院 臨床栄養科 科長 坂井 厚夫	旭 中 央 病 院	11名
山 長 夷	平成28年 5月21日(土)	「栄養士が知るべき輸液について」 講師 株式会社大塚製薬工場 千葉支店千葉営業所1課 徳永 裕美	東 千 葉 メ デ ィ カ ル セ ン タ ー	12名
	9月24日(土)	「栄養士が知るべき輸液について」 講師 株式会社大塚製薬工場 千葉支店千葉営業所1課 徳永 裕美	東 千 葉 メ デ ィ カ ル セ ン タ ー	10名

地 区	開催日	内 容	会 場	出席数
安 房	平成28年 9月15日(木)	「嚥下調整食品と学会分類2013について」 講師 ヘルシーフード株式会社 佐々木 祐輝	亀田総合病院S棟	30名
	平成29年 1月13日(金)	「寒天、ゲル化剤について」 講師 伊那食品工業株式会社 鈴木 有	菜の花ホール 調理室	20名
君津市原	平成29年 2月21日(火)	「消化器疾患の栄養療法」 講師 君津中央病院 消化器内科 三根 毅士	君津中央病院	22名
		延べ件数14件	延べ出席数 180名	

(3) 機関紙の発行 8月、12月、3月 「菜の花」90号～92号 各550部

学校健康教育事業部

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成28年 5月7日(土)	研 修 会	栄養教諭・学校栄養職員研修会 「これからの栄養教諭・学校栄養職員のあり方」	千葉県教育会館	19名
5月21日(土)	研 修 会	研究教育事業部主催 学校健康教育事業部共催 「日本食品成分表2015年版(七訂) —概要と活用のポイント—」 講師 千葉県立保健医療大学 教授 渡邊 智子	和洋女子大学	164名 (他事業部8名) (会員外7名) (学生132名)
11月12日(土)	研 修 会	元気な毎日のために —生きる力を育むための食育教材研究— ① 教材作成 かむこと(咀嚼)の大切さを伝える仕掛け ② 教材の活用方法についての意見交換	千葉県教育会館	32名 (会員外14名)
12月3日(土)	研 修 会	研究教育事業部主催 学校健康教育事業部共催 講演 「味覚とおいしさの科学」 講師 AISSY(株) 代表取締役社長 慶應義塾大学共同研究員 鈴木 隆一	川村学園女子大学	169名 (他事業部9名) (会員外3名) (学生147名)

福祉事業部

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成28年 4月21日(木)	研 修 会	講演 「食品添加物について」 講師 一般社団法人 日本食品添加物協会 谷口 均	千葉市民会館	43名
7月6日(水)	研 修 会	講演① 「摂食嚥下と食事 ～食事姿勢について～」 講師 特別養護老人ホームアコモード 理学療法士 梅澤 大治 講演② 「経口摂取を維持するために ～管理栄養士ができること～」 講師 特別養護老人ホームアコモード 管理栄養士 寺山 加恵	千葉市民会館	70名 (会員外12名)
8月26日(金)	研 修 会	講演 「効果的な掲示物の作り方 ～自分の仕事をビジュアルしよう～」 講師 NPO法人男女共同参画おた 代表 坂田 静香	千葉市文化 センター	47名 (会員外1名)
11月16日(水)	調 理 実 習	テーマ「心と体にやさしい低塩調理 ～だしが基本～」 講師 谷口内科・板倉病院 管理栄養士 福島 芳子	千葉市中央区蘇我 コミュニティーセンター	17名
平成29年 1月30日(月)	研 修 会	講演 「障害特性をふまえた食事支援」 講師 NPO法人つどい相談支援専門員 元障害者施設長 明峰 邦夫	千葉市民会館	37名 (他事業部1名) (会員外17名)

勤労者支援事業部

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成28年 4月23日(土)	研 修 会	地震・消火・都市型水害・応急手当の4体験。 塩の歴史・体との関係・世界の塩について 食材にこだわる	本所防災館 たばこと塩の博物館 ホワイトロータス	6名
12月13日(火)	研 修 会	グリコの歴史とポッキー・プリッツの工場見学 学校給食の歴史を給食サンプルなどの資料で学ぶ 解説 大澤館長	グリコピア・イースト 埼玉県 学校給食歴史館	4名 (他事業部2名)
平成29年 3月25日(土)	研 修 会	手作りにこだわるイタリアン 東京大学医学部の施設にて常設展および企画展「緑の下で身体 を支える腎臓」見学 農学部学食の試食	健康と医学の博物館 アブルボア	3名 会員外1名企画 展見学のみ参加

地域活動事業部

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成28年 4月23日(土)	研 修 会	演題 「たんぱく質の代謝を考慮した栄養指導」 講師 聖徳大学教授 宮本 佳代子	千 葉 市 蘇 我 コミュニティセンター	44名 (他事業部4名)
6月16日(木)	研 修 会	演題 「たんぱく質の代謝について」 講師 和洋女子准教授 多賀 昌樹	千 葉 市 蘇 我 コミュニティセンター	38名 (他事業部1名) (会員外1名)
7月10日(日)	視 察 研 修 会	江戸時代の再現された和食を味わい、地域の食材の生かし方、 無駄のない調理の研修	楠公レストハウス	23名
9月15日(木)	研 修 会	演題 「高齢者におけるたんぱく質調整食品の必要性和意義に ついて」 講師 株式会社クリニコ 金子 琢磨	千 葉 市 消 費 生 活 セ ン タ ー	20名
10月12日(水)	視 察 研 修 会	食品標準成分表2015年版の改訂ポイントや分析方法について研 修	日本食品分析センター 多摩研究所・国立天文台	16名
平成29年 1月24日(火)	情 報 交 換 会	季節の食材を活かした昼食をとりながらの、会員相互の意見交 換	茨城「ヨークプリンセ ス」・鹿島神宮	13名
7、11、3月	機 関 誌 発 行	163～165号 各300部		

研究教育事業部

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成28年 5月21日(土)	研 修 会	研究教育事業部主催 学校健康教育共催 講演 「日本食品標準成分表2015年版（七訂） －概要と活用のポイント－」 講師 千葉県保健医療大学 教授 渡邊 智子	和 洋 女 子 大 学	164名 (他事業部8名) (会員外7名) (学生132名)
12月3日(土)	研 修 会	研究教育事業部主催 学校健康教育共催 講演 「味覚とおいしさの科学」 講師 AISSY(株) 代表取締役社長 慶應義塾大学共同研究員 鈴木 隆一	川村学園女子大学	169名 (他事業部10名) (会員外3名) (学生147名)

千葉地域事業部

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成28年 9月12日(月)	健康づくり研修会	演題 「健康的な身体づくりのための身体活動と啓発活動事例 ～身体活動について学び、給食利用者の 健康づくりをサポートしよう～」 講師 和洋女子大学 教授 湊 久美子	千 葉 市 総 合 保 健 医 療 セ ン タ ー	143名
平成29年 1月25日(水)	病態栄養研修会	演題 「アレルギー治療における栄養管理」 講師 下総精神医療センター栄養管理室長 稲月 彰子	千 葉 市 総 合 保 健 医 療 セ ン タ ー	192名

いずれの事業も【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講演 セミナー ④講師は管理栄養士・栄養士、医師等の関連職種、大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】として行った。

3. 公益活動を強化するための人材を確保する事業（組織部）

公益目的事業を適正かつ円滑に行ううえで重要な人材の確保のため、本会の行う事業の必要性や意義などについて常に周知して理解を求めてきた。そのための活動として、栄養士・管理栄養士の職業倫理や使命、公益目的事業の内容、職域事業部の活動などを紹介することを目的として作成した「入会のおすすめ」などを使って資格を持つ者に入会の案内文の発送を、医療事業部、福祉事業部の協力を得て県内の施設名簿を活用して未入会者への入会案内文書発送を行った。

栄養千葉8月号発送時に、全会員に対し身近にいる未加入者に対し入会の案内を働き掛ける文書を同封して入会の促進に努めた。また、卒業予定者への呼びかけとして養成施設6校に対して「入会のおすすめ」の配布を行うとともに、時間を設けていただいた3校に会長が出向いて直接専門職業人として継続して研修を積む必要性や組織の重要性などについて説明し理解を得ることに努めた。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ、③その他 ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的とする。このことは、定款第3条、同第4条第1項第2号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにした。

事業の実施にあたっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるよう、研修等の内容や開催日時、受講資格が開かれていることなどをホームページへ雑誌、チラシその他の媒体で明らかにした。

事業内容には、栄養士・管理栄養士の専門的知見を反映させた。研修会の講師、演者には、実務家養成の見地から、適宜、定評のある研究者（大学教員）、専門職、その他の専門家を招くなどして理論的にも実践的にも高い質の確保に努めた。

その他、県民の伴侶としてその健康づくりに確かな貢献を行う栄養士・管理栄養士を育成することをとおして、公衆衛生の向上に寄与するとの目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

事業番号	事業の内容
公3	健康の増進、疾病の予防と治療に資する食事・栄養摂取のあり方について、講演会や講習会の開催、開かれた常設的相談窓口の設営、地域社会での諸活動、刊行物などによる知識・知恵の発信と交流など、多様な形態で行う栄養指導・給食管理・食事療法や食育に関する取り組みをととして、県民の健全でゆり豊かな食生活の自律的な営みを支援する事業
定款上の根拠	第4条第1項第3号
事業の種類(認定法別表)	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
6号	健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」(健康増進法第30条の2第1項参照)を謳っており、これを受けて、本事業は、「事業の概要欄」に記載した一連の取り組みなどをととして、「『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」(食育基本法前文)とともに、生活習慣病などの予防と治療を推進し、もって、公衆衛生の向上(公益法人認定法別表6号)に寄与することを目的とする。 本事業は、学校教育や社会教育の場で食育活動として取り組まれるときには「(教育を通じて)国民の心身の健全な発達に寄与し、または豊かな人間性を涵養することを目的とする事業」(公益法人認定法別表9号)にも該当する。
9号	健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」(健康増進法第30条の2第1項参照)を規定しており、これを受けて、本事業は、「事業の内容欄」に記載した一連の取り組みなどをととして、「『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」(食育基本法前文)とともに、生活習慣病などの予防と治療を推進し、もって、公衆衛生の向上(公益法人認定法別表6号)に寄与することを目的とする。 本事業は、学校教育や社会教育の場で食育活動として取り組まれるときには「(教育を通じて)国民の心身の健全な発達に寄与し、または豊かな人間性を涵養することを目的とする事業」(公益法人認定法別表9号)にも該当する。
事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】	
<p>健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」(健康増進法第30条の2第1項参照)を謳っており、本事業は、栄養士・管理栄養士の専門的知見と技能を生かした組織的活動により、疾病の予防と治療および療養、そして日常の食生活の各分野で、県民のかかる「自主的な努力」を支援するものである。この事業は、3つの柱からなり、(1)1つ目の柱は、個々の県民の個性・特性に合わせた栄養指導その他の専門的支援を組織的に行うものである。(2)2つ目の柱は、食生活の改善をもって県民の健康・栄養・疾病予防上の課題に対処すべく、広く県民に対し食生活の質の向上、食事を含む生活習慣の見直しと改善に役立つ知識や知恵、実用技術の普及などを行うものである。(3)3つ目の柱は食・栄養と健康に関する情報コミュニケーション事業である。この3つの柱による参加と協働を宗とする開かれた多種多様な活動をととして、健全な食生活・食事摂取の在り方の確立に向けた県民の取り組みを支援する。</p> <p>以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連し、かつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公3の事業を構成するものである。</p> <p>以下に、平成28年度事業の実施概要を記載する。</p>	
Ⅲ. 県民が健康でゆり豊かな生活を営むことができるよう支援する事業 (定款第4条第1項第3号)	
1. 個別特性対応型の自律支援事業	
1-1 テレフォン栄養相談事業 (広報部)	
<p>第2、第4月曜日の10時から16時まで、食と栄養に関する疑問を直接電話で受け、相談員が回答する「食べ物なんでも相談」を実施した。事業の適正な運営を図るため、9月、3月の2回担当者会議を開催した。相談件数の増加に向けて、事業の案内を千葉日報「現代食事考」の記事の後に記載するほか、千葉県中小企業団体中央会「情報誌」に掲載した。</p> <p>また、「湯けむり・みはま」の協力を得て、引き続きカタログスタンドを設置して案内チラシを置いた。本会ホームページのトップページに本事業の案内を掲載している。併せて、食育健康料理教室、講演会などでもチラシの配布を行った。28年度の相談件数は20件であった。相談内容は、生活習慣病や調理法に関するものが多かった。</p> <p>【①県民 ②千葉日報新聞、配布広告、事務所掲示板、ホームページ ③相談・助言 ④管理栄養士が担当 ⑤単独 ⑥非該当】</p>	
1-2 特定保健指導の実施 (総務部)	
<p>前年度に引き続き中央建設国保千葉土建かずさ支部および千葉支部の初回指導および6ヶ月の継続指導などの個人指導を、延べ20名(動機づけ14名、積極的支援6名)に対して実施した。</p> <p>【①県民 ②主催者の広報、事務所掲示板、ホームページ ③相談・助言 ④管理栄養士による相談、助言 ⑤単独 ⑥非該当】</p>	
1-3 介護予防栄養改善事業の実施 (総務部)	
<p>地域包括支援センターにおける栄養改善事業へ管理栄養士の積極的な参加を図るため、医療および介護福祉施設勤務経験者などの人材確保に努めるとともに、関係機関から情報を入手するなど、必要な取り組みを行った。また、前年度に引き続き千葉市内各区で開催される多職種連絡会議に参加して地域の取り組みの推進にかかわるとともに、千葉市在宅医療推進連絡協議会に参画し連携体制の構築に努めた。</p> <p>【①県民 ②依頼者の広報 ③相談・助言 ④管理栄養士による相談・助言 ⑤単独 ⑥非該当】</p>	
1-4 日赤「低ヘモグロビン献血者に対する健康相談」事業 (事業部)	
<p>日赤からの依頼がなく、28年度は実施しなかった。</p> <p>【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④管理栄養士による相談・助言 ⑤単独 ⑥非該当】</p>	
2. 集団特性対応型の自律支援事業	
2-1 千葉市健康づくり大会への協力事業 (千葉地域)	
<p>10月15日(土)に千葉市・きぼーるで開催された市民健康づくり大会に、関係団体と協力して、食生活・栄養・病態栄養のコーナーを</p>	

設けた。パネルや食品模型などの展示や、料理や食品に含まれる食塩量をクイズ形式で提示し、市民の食と栄養を通じた健康づくりに寄与した。コーナー来場者は195名で63名に食に関する相談に応じた。運営には会員10名が担当し、総来場者は5,847名であった。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④関連専門職 ⑤共催 ⑥非該当】

2-2 がん予防展への協力事業（事業部）

9月はがん征圧月間にあたり、千葉県（公財）ちば県民保健予防財団・千葉県がんセンターの主催により、「がん予防展・がん講演会」が県内の主な市街地のショッピングセンター内で開催され、がん予防・健康増進の意識高揚に努めた。今年度は、9月3日(土)～4日(日)にイオンモール柏において開催した。開催地域の東葛北部地区の医療事業部会員4名が協力し、パネル展示やがんなどの生活習慣病の予防に関する栄養相談を行い、コーナーへは209名が来場し好評であった。催しへの参加者は2日間で延べ10,137名であった。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-3 地域健康づくり推進事業（医療）

県内8地区の活動として、地区内の自治体、または、医療機関、および他職種の機能団体が開催する健康増進に係るイベントに参加、協力し、地域住民に対する食生活支援活動を行った。

香取海浜地区：看護の日「栄養相談」平成28年5月14日(土) イオンモール銚子

東葛南部地区：「健康フェア」平成28年11月3日(木) 済生会習志野病院

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言、その他 ④栄養士・管理栄養士 ⑤共催・協力 ⑥非該当】

2-4 看護の日行事への協力事業（千葉地域）

千葉県看護協会千葉地区の行う看護の日の行事が、5月14日(土)ハーモニープラザで開催され、会員2名が協力し栄養相談などに応じた。相談は19名であった。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-5 千葉県栄養改善大会・健康づくり食生活講演会の開催（事業部）

栄養改善普及月間の行事として、食生活の改善に携わる栄養関係3団体（本会・千葉県食生活改善協議会・千葉県集団給食協議会連合会）の共催により9月29日(土)に千葉県他の後援を得て千葉県教育会館において開催した。

2部構成とし、1部は「大会式典」、2部は県民の参加を得て「健康づくり食生活講演会」として、関東学院大学栄養学部准教授の菅洋子氏による「健康寿命を延ばすための食事と運動～知識と実践で若さを保つ～」の講演を行い、主催団体会員および県民367名が参加した。

【①県民 ②事務所掲示板、千葉日報新聞、ホームページ、他 ③講座・セミナー ④大学研究者 ⑤共催 ⑥非該当】

2-6 健康づくり栄養講座の開催（学術部）

県民を対象に、生活習慣病などを予防し、健康寿命を延伸させるための知識を深めることを目的として開催した。11月13日(日)に千葉県立保健医療大学を会場に、講座1「楽しんでいこう、元気づくりの食生活」淑徳大学看護栄養学部准教授の高松まり子氏、講座2「健康寿命と運動：動いてわかる、わたしのからだ」千葉県立保健医療大学健康科学部教授の島田美恵子氏、講座3「健康づくりと休養・睡眠」千葉県栄養士会会長の長谷川克己氏がそれぞれ講演を行った。参加者は一般市民51名を含む85名であった。それぞれの講演はわかりやすく自らの健康維持・増進に役立つ内容となっており、「健康寿命を延ばそう」という全体のテーマに即した講座であった。

【①県民、②事務所掲示板、ホームページ、千葉日報・毎日新聞千葉版、チラシの配布、③講座・セミナー ④大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】

2-7 食育健康料理教室の開催（事業部）

この事業は、平成16年度から公民館などを利用して、健康づくりと生活習慣病の予防、食育の推進を目的として県民に直接望ましい食と栄養について実習を通じて話しかける事業として開始した。適正・円滑な運営を図るため、手引きの作成と担当者会議を開催し、「ちばの野菜で元気もりもり～食卓を見直そう！～」をテーマに統一メニューを作成、各開催・運営は昨年引き続き講師を含むスタッフ5名で行った。8月～12月に15会場（船橋市・八千代市・市原市・成田市・市川市・松戸市・酒々井町・千葉市・銚子市・栄町）で開催、延べ参加人数は261名であった。

【①県民 ②事務所掲示板、実施会場でのチラシ等の配布、親子料理教室の場合は近隣の小学校に依頼 ③体験学習（料理教室）

④栄養士・管理栄養士が企画・実施 ⑤単独 ⑥非該当】

2-8 講演会・料理教室などでの講演の実施（総務部）

関係機関・団体等の依頼に応じて、健康づくりや生活習慣病予防に関する各種講演会、研修会、料理講習会、栄養指導などを行って、栄養を通じた健康づくりの支援を行った。

平成28年度は3件の依頼に対して延べ20名が講師を務めた。

【①県民 ②主催者の広報 ③講座・セミナー、体験学習（調理実習） ④栄養士・管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-9 親子料理教室の開催（学校健康教育）

今年度の親子料理教室は8月5日(金)市川市立菅野小学校にて市川市立第二中学校学区の小・中・特別支援学校の親子60名、8月9日(火)流山市北部中学校にて近隣の小学校の親子18名が参加した。市川市では、太巻き祭りずしを実習した。楽しく実習を行う中で千葉県の伝統料理への関心を高めることができた。流山市では、親子で学校給食の献立の調理実習を行った。給食への関心が高まり好評であった。

【①県民 ②該当する学校へのチラシの配布 ③体験学習（料理教室）、講習・セミナー ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

2-10 千葉市食育の日事業への協力（千葉地域）

千葉市主催で6月25日(土)イオンモール幕張新都心で食育のつどいが開催された。食育月間の行事として千葉市関係団体が協力し、本会は食育のパネル展示や媒体を活用して健康・食生活の相談を行った。コーナーには619名が来場し、会員6名が担当した。

【①県民 ②千葉市の広報 ③相談・助言 ④関連専門職 ⑤共催 ⑥非該当】

2-11 介護食調理技能講習への協力事業（事業部）

今年度は、（公社）千葉県シルバー人材センター連合会の依頼がなく実施しなかった。

【①県民 ②シルバー人材センターの行う広報 ③講座・セミナー ④栄養士・管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-12 調理補助講習への協力事業（事業部）

今年度は、（公社）千葉県シルバー人材センター連合会の依頼がなく実施しなかった。

【①県民 ②シルバー人材センターの行う広報 ③講座・セミナー ④栄養士・管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-13 千葉県学校保健学会への協力事業（学校健康教育）

12月10日(土)聖徳大学で行われた第20回千葉県学校保健学会のワークショップに参加した。元気な毎日のために一生涯の力を育むための食育教材研究—というテーマで、今年度は、噛むことの大切さを伝える仕掛けづくりと、その活用方法についてのディスカッションを行った。参加者は学生を含めて33名で、和やかななかにも有意義な研修であった。

【①栄養士・管理栄養士、関連職種 ②主催団体の行う広報 ③講座・セミナー ④栄養士・管理栄養士、関連職種 ⑤協力 ⑥非該当】

2-14 ウエルネスセミナー開催への協力事業（事業部）

平成28年3月、大塚製薬㈱と平成28年度事業の実施について協議を行い、ウエルネスセミナー事業を実施することになり、事業計画に組み入れ実施に向けての準備を進めた。セミナーで取り上げるテーマは、①生活習慣病予防、②日常生活の水分補給、③カラダ作りと栄養とし、テキストは日本栄養士会で作成したものを全国で使用することになった。3演題について、全県で円滑に実施できるよう9名の講師候補者を選定し、6月23日(木)午後から担当者研修会を開催した。

今年度は、セミナーへの講師の依頼は、なかったが29年度に円滑に実施できるよう大塚製薬㈱との連携を強化する。

【①県民 ②主催団体の行う広報、ホームページ ③講座・セミナー ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

3. 食と栄養と健康の情報コミュニケーション事業

3-1 インターネット・ホームページによる情報の提供（広報部）

ホームページを利用して、多くの人びとに千葉県栄養士会の活動や各種事業の広報と食と栄養の観点から健康づくりに役立つ情報を提供した。また、ホームページ運営委員会を3回開催し、運営方法の充実に努めた。各職域事業部が開催する研修会の案内を掲載するとともに、研修会終了後は研修報告を掲載した。また、トップページを見ただけで本会の活動がわかるようにトップページの一部を変更した。「現代食事考：かしこく食べる」の内容の見直しを行い、最新の情報に書き換えを行った。「地産地消レシピ」を季節に合わせて更新した。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ ③その他（情報提供） ④栄養士・管理栄養士が記事を書いて編集 ⑤単独 ⑥非該当】

3-2 千葉日報「現代食事考」記事の提供事業（広報部）

千葉日報社の協力を得て、毎週日曜日の千葉日報新聞「現代食事考」欄に、年間執筆計画をもとに、国の健康づくりに関する月間や年中行事などを踏まえ、健康づくりや病気の予防、行事にまつわる料理や千葉県で生産される旬の食材の活用などに関する記事を会員の協力を得て提供した。内容は、千葉日報社のホームページに掲載され、本会ホームページのトップページとリンクされている。平成28年度は52回の記事提供となり、掲載された記事は冊子として作成し、執筆者および役員に配布した。

【①県民 ②千葉日報新聞、ホームページ ③その他（記事提供） ④栄養士・管理栄養士による記事提供 ⑤単独 ⑥非該当】

3-3 NHK千葉FM「ひるどき情報ちば『食と健康』」放送協力事業（事業部）

今年度は、NHK千葉放送局の依頼がなく実施しなかった。

【①県民 ②NHK千葉放送局広報、本会ホームページ ③その他（情報提供） ④栄養士・管理栄養士の出演 ⑤単独 ⑥非該当】

3-4 健康づくりと栄養改善のパネルの作成と貸し出し（広報部）

食生活の改善や疾病の予防に関するパネルを作成し、地域の健康づくりのイベントや健康づくりに関する行事などに貸し出しを行った。栄養千葉、ホームページで本事業を紹介した。「食生活指針」の改定（平成28年6月）に伴い、新しい食生活指針に基づくパネルを作成した。今年度は3件の貸し出しを行った。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ ③その他（情報提供） ④管理栄養士によるパネルの作成 ⑤単独 ⑥非該当】

3-5 千葉県中小企業団体中央会「情報誌」への健康づくりに関する記事の提供事業（広報部）

千葉県中小企業団体中央会情報誌「中小企業ちば」の「食と健康ワンポイント」欄に年4回記事を提供し県民の食と栄養を通じた健康づくりを支援した。併せて「健康づくり食生活講演会」の案内の掲載を9月号に依頼し、より多くの県民の参加に努めた。

【①県民 ②千葉県中小企業団体中央会「情報誌」 ③その他（情報提供） ④管理栄養士による記事提供 ⑤単独 ⑥非該当】

3-6 湯けむり横丁・みはま「湯けむり新聞」への記事の提供事業（広報部）

千葉市美浜区のスーパースーパー銭湯、湯けむり横丁・みはまと連携して、毎月発行される「湯けむり新聞」に「食べる健康法」と題して、年間執筆計画を作成し記事を提供した。利用者および近隣地域住民に食と健康に関する情報を提供し好評を得ている。併せて、施設のお知らせコーナーへ「生活習慣病を予防する食事」をはじめとするリーフレット、テレホン栄養相談の案内チラシなどをカタログスタンドを設置して、健康づくりに関する情報の提供に努めた。

【①県民 ②湯けむり新聞 ③その他（情報提供） ④管理栄養士による記事提供 ⑤単独 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的とする。このことは、定款第3条、同第4条第1項第3号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにした。事業の実施にあたっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるよう、講演会、展示会、集会などの内容や開催日時、参加資格が開かれていることなどをホームページや自治体の広報誌、チラシその他の媒体で明らかにした。

講演会などの講師は定評のある研究者（大学教員）、専門職、その他の専門家を充てるなどして、的確でわかりやすく実用的な内容からなる質の高いものにした。

その他、健全な食生活・食事摂取のあり方の確立に向けた県民の取り組みを支援することをとおして、公衆衛生の向上に寄与する目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

事業番号	事業の内容
公4	地域社会の保健・医療・福祉の増進に関わる各種の専門職・専門家の連携と協働関係の形成、食品・食事の提供に係る事業者への業務支援、地域社会の栄養改善に貢献した個人・団体の顕彰、管理栄養士・栄養士にかかる制度の改善を図る取り組みなどをとおして、県民の健全な食生活を支える食環境の整備を進める事業。
定款上の根拠	第4条第1項第4号
事業の種類(認定法別表)	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
6号	本事業は、国民の食生活の改善に寄与しうる地域社会の諸資源（人と物と仕組み）を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させるための「事業の内容欄」に記載した一連の取り組みなどをとおして、県民の健全な食生活を育む食環境を整備し、もって、公衆衛生の向上（公益認定法別表6号）に寄与することを目的とする。
19号	本事業は、栄養・食生活改善の取り組みを国民の栄養と健康をケアする力をもつ健全な地域社会づくりと一体的なものとして「地域社会の健全な発展を目的とする事業」（公益法人認定法別表19号）にも該当する。
	本事業は、国民の食生活の改善に寄与しうる地域社会の諸資源（人と物と仕組み）を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させるための「事業概要欄」に記載した一連の取り組みなどをとおして、県民の健全な食生活を育む食環境を整備し、もって、公衆衛生の向上（公益認定法別表6号）に寄与することを目的とする。
	本事業は、栄養・食生活改善の取り組みを国民の栄養と健康をケアする力をもつ健全な地域社会づくりと一体的なものとして「地域社会の健全な発展を目的とする事業」（公益法人認定法別表19号）にも該当する。

事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】

県民の食生活に寄与しうる地域社会の諸資源（人と物と仕組み）を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させることにより、望ましい食環境の整備を図る事業である。本事業は3つの柱から成り、(1)1つ目の柱は、栄養・食生活の改善を支援する保健、医療、福祉および教育などの分野の各職種並びに健康づくり関連企業への助言や支援などの連携・協働関係の構築、(2)2つ目の柱は、栄養改善に貢献した団体・個人の顕彰。(3)3つ目の柱は、適正な食生活を支援する制度の整備などに取り組むことをとおして、県民の食環境を望ましいものにすべくその整備を行おうとするものである。これは、県民の健全な食生活を支える地域社会づくりの事業でもある。

以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公4の事業を構成するものである。

以下に、平成28年度事業の実施概要を記載する。

IV. 健康な食生活を支える食環境の整備を進める事業（定款第4条第1項第4号）

1. 連携構築事業

1-1 関係団体の行う各種健康づくりに関する委員会への参加と催しへの協力（総務部、事業部）

医療機関、団体における地域および健康づくりに関する委員会・会議に参画するとともに、催しに協力して、健康づくりや疾病予防に関する各種事業の推進を通じて、連携の強化を図った。平成28年度は以下のとおり実施した。

<関係機関・関係団体>

（公社）千葉県医師会、（一社）千葉県歯科医師会、（公社）千葉県看護協会、（一社）千葉県歯科衛生士会、（一社）千葉県調理師会、（一社）千葉県診療放射線技師会、千葉県食生活改善協議会、千葉県集団給食連合会、（公財）ちば県民予防財団

<関係機関・関係団体で組織する県民の健康づくりを推進する組織>

障害児（者）のための摂食嚥下指導事業推進委員会、千葉県小児保健協会、千葉県学校保健学会、千葉県公衆衛生協会、千葉県糖尿病対策推進会議・講習会

<催しへの協力>

以下の催しの「料理審査担当」を務めるとともに、「栄養士会会長賞」の授与を行った。

（一社）千葉県調理師会主催：調理師大会「料理コンクール」、千葉県歯科衛生士会主催：「かむ子・のびる子、元気な子」料理コンクール、八千代市主催：「八千代市野菜たっぷりメニューコンテスト」

【①県民 ②主催団体の広報 ③その他（情報発信） ④専門的な知見を有する者 ⑤単独 ⑥非該当】

1-2 調理師試験受験準備講習事業などに対する協力事業（事業部）

特定給食施設で共に働く調理員や飲食店などで働く調理従事者の調理師試験合格率の向上を図り、衛生的で安全な食事の提供に資することを目的として、平成12年から（一社）千葉県調理師会の行う調理師試験対策事業に協力することとし、「調理師試験対策委員会」を設置して事業の適正、円滑な実施のための協力を行っている。内容は、受験準備講習会において試験6科目のうち5科目を担当し、県内12会場で開催された講習会に延べ55名（講師20名）が講師を務めた。

併せて、調理師試験対策委員会が分担して「調理師試験問題の正解と説明」の作成を行った。

また、平成29年度における各種の事業を円滑、適正に行うことを目的として県主管課の担当者を交えて、2月21日(火)調理師会事務所において合同会議を開催した。

【①県民 ②調理師会の各支部が関係者に周知 ③講座・セミナー ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

1-3 「調理師による県民の食生活の向上に関する条例」に基づく講習会開催への協力事業（事業部）

平成28年4月1日からの県条例の施行に伴い千葉県健康福祉部担当主管課長の依頼を受け、(一社)千葉県調理師会の支部が開催する講習会の栄養と健康、食文化、食品衛生(本部)の講師を務めることになった。28年度は本部・支部合わせて7会場で開催した講習会において延べ11名が講師として講習会の運営に協力した。

【①調理師 ②調理師会の各支部が関係者に周知 ③講座・セミナー ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2. 栄養改善に貢献した個人・団体を顕彰する事業

2-1 栄養改善奨励賞の授与(学術部、総務部)

栄養改善に顕著な功績のあった栄養士・管理栄養士に対して、栄養改善奨励賞の授与を行い、栄養士・管理栄養士の研究の奨励、振興を図ることを目的として行った。平成28年度は第17回千葉県栄養改善学会において発表された一般口演24題を対象に、顕彰審査委員会を開催し審査を行い、次の5題を表彰に値するものとして理事会に推薦した。理事会において推薦のあったものを栄養改善奨励賞に決定し、平成29年度定時総会式典において表彰することとした。

決定した内容は、口演1 健康増進計画「健康松戸21Ⅲ」推進のための市民食習慣と分析(松戸市健康推進課 石川 有希子ほか、和洋女子大学大学院 古畑 公)、口演4 糖尿病予防のために～地域栄養士の取り組み～(君津中央病院 山口 菜々ほか)、口演8 肥満症患者に対する新たな低カロリー食による食事療法の試み(君津中央病院 目黒 美和子ほか)、口演17 和食器を使った給食(船橋市立三山東小学校 細谷 裕子)、口演20 社会科を活用した食に関する指導～第4学年「わたしたちの千葉県 人びとの暮らし 水産物のさかな勝浦市」(船橋市立法典西小学校 口野 佳奈)であった。

【①栄養士・管理栄養士、栄養関係団体・個人 ②事務所掲示板、ホームページ ③表彰 ④顕彰審査委員会、審査基準の設置 ⑤単独 ⑥非該当】

3. 適正な食生活を支援する制度の整備

3-1 栄養教諭の配置促進事業(総務部)

栄養教諭の配置促進により、小・中学校における食育を推進することは健全な発育と生涯にわたる心も体も健康な児童生徒の育成につながるものであることから、配置促進要望書とともに平成28年4月までに配置された栄養教諭を対象に実施した「栄養教諭配置に伴う成果などに関する実態調査」結果を添えて、12月14日(水)千葉県教育委員会主管課担当者に対して、栄養教諭の配置促進、市町村費負担の学校栄養職員への栄養教諭の門戸拡大などの要望書を提出し理解を得た。要望には会長のほか、学校健康教育事業部企画運営委員長、千葉県学校栄養士会会長が参加した。

【①学校給食に携わる栄養士・管理栄養士 ②ホームページ ③その他 ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

3-2 県・市町村行政栄養士配置促進事業(総務部)

日本栄養士会の作成した要望書を基に、地域住民の食と栄養を通じた各種健康づくり施策の進展を目的として、千葉県健康福祉部主管課、保健センターおよび関係市町村担当者などとの共同による、保健センター管理栄養士の配置促進や、市町村行政栄養士の複数配置についての要望活動を計画し、12月13日(火)に長南町を会長が訪問し、主管課長、総務課長に要望を伝え理解を得た。

【①県民 ②ホームページ ③その他 ④管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

3-3 栄養士・管理栄養士の適正配置促進事業(総務部、組織部)

高齢社会が進行し、健康づくりや生活習慣病の予防や重症化予防、介護予防などにおける栄養管理の重要がますます高まる中で、栄養士・管理栄養士を必要とする関連施設に県民の要望に応え配置を促進するための、本会における対応窓口として、無料職業紹介事業の許可を得る作業を進めた。具体的には、千葉労働局の指導を得て、2種類の規約の制定、必要書類の準備などを進め、10月18日(火)千葉労働局に書類を提出し、29年1月1日付で無料職業紹介事業許可証の交付を得た。1月21日(土)に開催した理事会において求職票、求人票などの関係帳票、ホームページへの掲載内容などの承認を得て、県内の栄養士・管理栄養士養成施設の協力を得ながら体制の整備を図り、栄養士・管理栄養士の適正配置促進に向けた体制づくりを行っていく。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ ③その他(情報提供) ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的とする。このことは、定款第3条、同第4条第1項第4号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにした。広く県民に開かれたものとして機能する連携関係や制度づくりを行い、不特定かつ多数の者が本事業による利益を享受できるように努めた。

事業内容には、栄養士・管理栄養士の専門性を反映させた。事業は適宜、定評のある研究者(大学教員)、専門職、その他の専門家と連携して行い、理論的にも実践的にも高い質の連携関係や制度づくりに努めた。

その他、県民(地域住民)の健全な食生活の礎となる地域社会づくりなどの食環境の整備をもって公衆衛生の向上に寄与する目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

V. 法人運営に関する事業

1. 各種事業の充実への取り組み

1-1 執行体制の強化(総務部)

事業および会議などの年間予定表を作成し、理事会、部長会、各種委員会などを定期的かつ効率的に開催するとともに、執行体制の強化による事業の充実を努めた。平成28年度は役員改選が行われたことから、業務の手引きを改定するとともに、役員改選後の実質的な第1回理事会となる7月2日(土)に手引きを使用した研修会を行い、定款をはじめ各種規約の理解と業務所掌の徹底などを行った。また、理事会、部長会などの定例開催を図り事業の適正・円滑な実施に努めた。

1-2 事務局体制の充実(総務部)

前年度に採用した職員の退職に伴い、28年度3名の非常勤職員を採用した。事務局の業務分担や業務の処理方法を明確にして会員管理事務の充実を基に会費納入率の向上に努めた。また会計事務の充実を基に、経費の節減と効率的な執行に努めることなどを中心に、業務の効率化と適正な運営を図り、職員の定着に努めるとともに法人として必要な服務管理の徹底などに努めた。また、常勤職員を配置している他県の事務局職員に関する特別休暇に関するアンケート調査を行い、今後、この調査を基に対応を検討する。10月8日(土)事務局の書類などの整理が不十分で、事務処理に不要な時間を要していることから、会長、副会長、総務部理事、事務局職員

が参加して、12月の大掃除とは別に事務所の整理、整頓を行った。

1-3 栄養ケア・ステーション事業推進委員会の開催（総務部）

委員会を年2回定期的に開催し、栄養ケア・ステーション事業の充実と円滑な実施に努めた。

1-4 職域事業部事務担当者研修会および担当者会議の開催（総務部）

各部との合同により職域事業部事務担当者会議を7月23日(土)に開催し、本会の事業および組織運営など基本的事項の理解を深めるとともに併せて、午前中に中堅役員のスキル向上を目的とした研修会を実施した。

また、会計担当者会議を6月25日(土)に開催し、職域事業部における会計処理の方法などについて周知し、適正かつ円滑な会計処理の実施に努めた。また、各期の決算時に処理の不適切な処理事項があれば、正しい処理方法について周知した。

1-5 組織財政問題検討委員会の開催（総務部）

委員会を年2回定期的に開催し、第4次組織強化長期計画の推進をはじめとする、公益社団法人としての組織強化と財政基盤の強化などについて検討を進めた。

1-6 協賛会員対策の推進（総務部）

前年度に引き続き、新春賀詞交歓会を開催し、協賛会員との交流を深めた。

1-7 非常災害時支援体制の整備（総務部）

平成28年9月17日(土)～19日(月)の間、東京都稲城市の駒沢女子大学で行われた日本栄養士会JDA-DATリーダー育成研修会に133名（7名が千葉県から参加）が参加し、22名（1名が千葉県から参加）のリーダースキルアップ研修会参加者がリーダーとなって、避難所の設営、避難所にいる方の把握、避難所への配食など多彩な研修を行った。

この研修に先立つ、16日(金)午後3時、東京都日栄市（仮想市）に直下型巨大地震が発生したと想定した訓練として、日本栄養士会から状況の報告やJDA-DATの出動要請などがあり、都道府県栄養士会はこれを踏まえ、各リーダーへ出動要請を行い、これに応じて出動した者が翌日からの研修に参加するという設定になっており、とても有意義で充実した研修であり、千葉県におけるスタッフ研修会開催の必要を感じた。

1-8 会費の自動払込みの促進（総務部）

会費の早期納入および事務局作業軽減、徴収時の事故防止の観点から、会費の「自動引き落とし」利用者の増加に向けて、会報「栄養千葉」や各種研修会実施時に会員への周知を行った。結果、平成28年度の利用者は371名（昨年より2名減）となった。

1-9 財政基盤の強化（総務部）

会員の減少が続いている状況をふまえ、財政基盤強化のための会員および協賛会員の確保に努めた。併せて各種事業の経費削減に努めるとともに、会費未納者への納入促進について、文書発送を行うとともに、各職域事業部と連携し電話での納入依頼などを行い、財政基盤の強化を図った。

1-10 栄養士職場問題対応委員会の運営（総務部）

平成28年度は会員からの相談はなく、委員会を開催する機会はなかった。

1-11 日本栄養士会関係会議への出席（総務部）

定時総会および諮問会議、京浜地区会長会議などの各種関係会議に出席し、日本栄養士会の行う各種事業の円滑な執行に協力するとともに、本会事業の充実を図った。

1-12 諸規程の整備（総務部）

無料職業紹介所の許可に必要な「職業紹介業務の運営に関する規程」「職業紹介事業に関する個人情報適正管理規程」を制定し平成28年10月1日から施行した。併せて、定款第4条第1項第4号の変更案を策定し、29年度定時総会において定款変更を議題とすることとした。

1-13 会報「栄養千葉」の発行（広報部）

4月、8月、12月に122号～124号を発行した。記事は簡潔明瞭に努め、ページ数の縮小を心掛けた。123号から会員の自由な投稿欄（Coffee Break）を設けた。

2. 第4次組織強化長期計画の推進状況（報告）

平成27年度は第3次計画の最終年度であることから、第3次計画の取り組みの成果と課題のとりまとめを行い、これを踏まえ第4次組織強化長期計画の作成を行った。

平成20年12月1日から公益法人制度改革関連3法が施行されたことから、第2次、第3次の4年間にわたって、平成24年4月1日の公益社団法人移行に向けて、移行計画を作成し、事業、財務、組織の改革を進めた。平成23年9月に臨時総会を開催し、定款変更を行い、その後、平成23年度事業計画・予算を新定款に合わせて組み替えを行うとともに、必要書類などを作成し、11月に認定申請を行い、3月に公益社団法人の認可を得た。

その後、公益社団法人としての事業・事務の円滑な執行、職域を統合した会計事務の円滑な実施、組織を適正に運営するための各種規程の整備、監事のうち1名を会員以外の有識者としたことなどから組織の体裁を大きく整えることができた。

これらを踏まえ、第4次計画は重点事業を定めて事業を進めることとした。重点事業の28年度の実施状況は、以下のとおりである。

1. 執行体制・事務局体制の整備

執行体制の整備、事務局体制の整備のいずれも経験を積むことによって、円滑に事業を実施してきている。事務局体制については、今後、業務分担の見直し、教育の充実などを行う。

2. 会員の拡充

未加入者に対する案内を的確に行うことにより、会員を増やすことが証明できた。

学生会員制度の創設については、検討することができなかった。校外実習・臨地実習の充実については、実施に向けて計画を作成したが、養成施設および受け入れ施設の担当者会議を開催することは出来なかった。

新入会員に対する研修会参加費の軽減を図ることなどの、新入会員の特典に関して検討することや休学生会員制度の創設については、検討することが出来なかった。

会員意識の高揚については、各種の研修会を通じて努めた。

3. 基幹研修・職域研修の充実

基幹研修としての生涯教育の内容の充実と参加者の確保については、職域事業部の事業説明会や研修会などを通じて受講の奨励、参加者の確保に努めたが、参加者の拡充・確保を図ることはできなかった。

職域事業部の研修の充実については、他職域事業部との共催や他職域事業部からの参加を募るなど効率的な運営に努めた。

4. 県民の健康づくりを支援する事業の充実

各種の県民の健康づくりを支援する事業の充実に向けて、栄養千葉発行時に人材登録の案内および登録用紙を同封して人材の確保に努めた。

個別特性対応型自律支援事業の充実については、特段実施することはなかった。

集団特性対応型自律支援事業の充実については、食育健康料理教室参加者のアンケート調査の調査内容の変更により、事業の県民からの評価を明確にすることができ、今後の内容の充実に向けた事項を的確に把握することができた。

5. 食環境の整備を進める事業の充実

平成28年度から（一社）千葉県調理師会が行う「条例制定後の講習会開催」へ、栄養と健康、食文化、食品衛生（本部）の講師を依頼され、本部・支部7会場に、延べ13名が講師として講習会の運営に協力した。

栄養士・管理栄養士の適正配置促進事業については、無料職業紹介事業の許可申請に必要な規程の整備と必要書類の作成と確保などを進め、10月に千葉労働局に申請し、平成29年1月1日付で無料職業紹介事業許可証の交付を得た。

今後は、栄養士養成施設などの協力やホームページの活用などにより、利用の向上を図る。

6. 法人運営に関する事業

非常災害時支援体制の整備に向けて、平成28年度（公社）日本栄養士会災害時支援チーム（JDA-DAT）リーダー研修会に7名が参加した。これにより、本会のリーダー研修会修了者は10名になった。29年度は、本県においてスタッフ研修会を開催して、チームの編成を可能とする。

平成28年1月からマイナンバー制度が開始し、円滑な実施に向けて職域事業部などへ周知を図ってきたが、講師からのマイナンバーの徴収漏れが多かったことから、さらに周知を図り、マイナンバーの徴収に努める。

第4次組織強化長期計画の重点事項の実施に当たって、担当部などを明確にしなかったことから、一部の事業については、実施に向けて十分に検討されなかった事業がある。次年度は、これらを踏まえて第4次組織強化長期計画の推進に取り組む。

3. 会議の開催

理事会

第1回 平成28年4月16日(土)

1. 平成27年度収支決算および監査報告について
2. 平成28年度定時総会の開催運営について
3. 平成28年度生涯教育研修会の開催について
4. マイナンバー制度への対応について
5. その他

第2回 平成28年5月28日(土)

1. 代理理事の選出について
2. その他

第3回 平成28年5月28日(土)

1. 平成28年度生涯教育研修会の開催運営について
2. 平成28・29年度役割分担について
3. 平成28・29年度各種委員会委員について
4. 平成28年度事業の執行について
5. 平成28年度事業・会議予定について
6. その他

第4回 平成28年7月2日(土)

1. 平成28年度事業の執行について
2. その他

第5回 平成28年9月10日(土)

1. 千葉県栄養改善大会・健康づくり食生活講演会の開催運営について
2. 健康づくり栄養講座の開催運営について
3. 千葉県栄養改善学会開催について
4. その他

第6回 平成29年1月21日(土)

1. 千葉県栄養改善学会の開催運営について
2. 平成28年度事業報告・収支決算の取りまとめについて
3. 平成29年度生涯教育研修会の開催について
4. 平成29年度事業計画・収支予算案の作成について
5. 平成29年度定時総会の開催について
6. 平成28年度収支見込みと事業の見直しについて
7. 無料職業紹介所の運営について
8. その他

第7回 平成29年3月18日(土)

1. 平成28年度事業報告の作成について
2. 平成29年度事業計画および収支予算等の決定について
3. 平成29年度定時総会の開催について
4. その他

部長会

第1回 平成28年5月14日(土)

1. 平成28年度定時総会の開催運営について
2. 生涯教育研修会の開催運営について
3. 平成28・29年度役割分担について
4. 平成28・29年度各種委員会委員について
5. 平成28年度事業の執行について
6. 平成28年度事業・会議予定について
7. その他

第2回 平成28年6月18日(土)

1. 平成28年度事業の執行について
2. その他

第3回 平成28年8月27日(土)

1. 千葉県栄養改善大会・健康づくり食生活講演会の開催運営について
2. 健康づくり栄養講座の開催運営について
3. 千葉県栄養改善学会開催について
4. その他

第4回 平成28年11月26日(土)

1. 千葉県栄養改善学会の開催運営について
2. 平成28年度事業報告・収支決算書の取りまとめについて
3. 平成29年度生涯教育研修会の開催について
4. 平成29年度事業計画・収支予算案の作成について
5. 平成29年度定時総会の開催について
6. 平成28年度収支見込みと事業の見直しについて
7. 無料職業紹介所の運営について
8. その他

第5回 平成29年3月4日(土)

1. 平成28年度事業報告案の作成について
2. 平成29年度事業計画および収支予算案の作成について
3. 平成29年度定時総会の開催について
4. その他

貸借対照表

平成29年3月31日現在

一般会計

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	13,210,705	13,048,953	161,752
未収金	174,000	174,000	0
前払費用	368,116	320,446	47,670
仮払金	0	0	0
流動資産合計	13,752,821	13,543,399	209,422
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
建物	9,850,977	10,645,038	△ 794,061
基本財産合計	9,850,977	10,645,038	△ 794,061
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	2,046,190	1,926,002	120,188
医療機関栄養業務実態調査預金	324,536	274,536	50,000
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	600,000	0
柴田顕彰会預金	3,303,831	3,343,799	△ 39,968
特定資産合計	6,274,557	6,144,337	130,220
(3) その他固定資産			
什器備品	74,708	130,980	△ 56,272
ソフトウェア	202,954	270,605	△ 67,651
敷金・保証金	300,000	300,000	0
その他固定資産合計	577,662	701,585	△ 123,923
固定資産合計	16,703,196	17,490,960	△ 787,764
資産合計	30,456,017	31,034,359	△ 578,342
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	156,330	18,320	138,010
前受金	0	80,000	△ 80,000
前受会費	4,420,000	4,743,000	△ 323,000
預り金	2,728,532	2,938,616	△ 210,084
流動負債合計	7,304,862	7,779,936	△ 475,074
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,043,670	1,923,670	120,000
固定負債合計	2,043,670	1,923,670	120,000
負債合計	9,348,532	9,703,606	△ 355,074
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	21,107,485	21,330,753	△ 223,268
(うち基本財産への充当額)	(9,850,977)	(10,645,038)	(△794,061)
(うち特定資産への充当額)	(6,274,557)	(6,144,337)	(130,220)
正味財産合計	21,107,485	21,330,753	△ 223,268
負債および正味財産合計	30,456,017	31,034,359	△ 578,342

正味財産増減計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取利息		0	0
特定資産運用益	220	1,081	△ 861
特定資産受取利息	220	1,081	△ 861
受取入会金	127,000	118,000	9,000
受取入会金	127,000	118,000	9,000
受取会費	18,395,000	18,792,500	△ 397,500
受取会費	15,345,000	15,542,500	△ 197,500
協賛会費	3,050,000	3,250,000	△ 200,000
事業収益	6,078,018	9,508,786	△ 3,430,768
受取受講料 (会員)	1,808,900	2,290,300	△ 481,400
受取受講料 (会員以外)	332,300	369,048	△ 36,748
受取分担金	1,094,368	2,325,000	△ 1,230,632
受取業務手数料	2,272,450	3,585,938	△ 1,313,488
受取事業協賛金	450,000	520,000	△ 70,000
販売収益	0	146,500	△ 146,500
雑収益	120,000	272,000	△ 152,000
受取補助金等	335,000	20,000	315,000
受取市補助金	335,000	20,000	315,000
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
雑収益	15,400	14,826	574
受取利息	300	1,007	△ 707
雑収益	15,100	13,819	1,281
経常収益計	24,950,638	28,455,193	△ 3,504,555
(2) 経常費用			0
事業費			0
給料手当	4,850,654	5,078,310	△ 227,656
臨時雇賃金	160,675	263,975	△ 103,300
退職給付費用	96,000	96,000	0
福利厚生費	479,499	478,624	875
会議費	590,451	677,571	△ 87,120
旅費交通費	1,422,543	1,447,329	△ 24,786
通信運搬費	1,345,428	1,605,708	△ 260,280
減価償却費	642,589	683,689	△ 41,100
消耗品費	1,257,051	1,469,104	△ 212,053
修繕費	0	21,536	△ 21,536
印刷製本費	766,732	1,033,177	△ 266,445
光熱水料費	224,995	260,664	△ 35,669
賃借料	630,000	630,000	0
保険料	90,932	76,375	14,557
諸謝金	3,084,784	3,950,923	△ 866,139
会場費	958,572	1,111,136	△ 152,564

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
リース料	289,538	340,180	△ 50,642
食料費	289,035	236,210	52,825
支払負担金	336,497	324,772	11,725
渉外費	51,240	58,000	△ 6,760
表彰費	44,212	66,318	△ 22,106
租税公課	58,420	62,300	△ 3,880
支払利息	0	0	0
消耗什器備品	16,700	68,604	△ 51,904
雑費	83,346	146,487	△ 63,141
事業費計	17,769,893	20,186,992	△ 2,417,099
管理費			0
給料手当	1,212,663	1,269,578	△ 56,915
臨時雇賃金	0	0	0
退職給付費用	24,000	24,000	0
福利厚生費	119,875	119,656	219
会議費	517,660	735,059	△ 217,399
旅費交通費	241,178	299,528	△ 58,350
通信運搬費	287,678	307,951	△ 20,273
減価償却費	275,395	293,009	△ 17,614
消耗品費	258,763	348,433	△ 89,670
修繕費	0	9,230	△ 9,230
印刷製本費	1,591,551	2,323,054	△ 731,503
光熱水料費	96,427	111,713	△ 15,286
賃借料	270,000	270,000	0
保険料	7,011	7,011	0
諸謝金	562,579	885,600	△ 323,021
会場費	65,515	356,488	△ 290,973
リース料	124,088	145,791	△ 21,703
食料費	944,280	1,565,738	△ 621,458
支払負担金	105,147	105,147	0
渉外費	194,392	150,706	43,686
租税公課	24,780	24,900	△ 120
役員報酬	381,600	0	381,600
表彰費	21,468	42,330	△ 20,862
消耗什器備品	0	41,340	△ 41,340
雑費	77,963	256,278	△ 178,315
管理費計	7,404,013	9,692,540	△ 2,288,527
経常費用計	25,173,906	29,879,532	△ 4,705,626
当期経常増減額	△ 223,268	△ 1,424,339	1,201,071
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
前期損益修正益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 223,268	△ 1,424,339	1,201,071
一般正味財産期首残高	21,330,753	22,755,092	△ 1,424,339
一般正味財産期末残高	21,107,485	21,330,753	△ 223,268
II 正味財産期末残高	21,107,485	21,330,753	△ 223,268

平成28年度収支決算書内訳表

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合 計	備 考
	公1 科学技術 振興事業	公2 人材育成 事業	公3 自律支援 事業	公4 食環境整 備事業	公益共通	公益事業計			
1 一般正味財産増減の部									
1. 計上増減の部									
(1)経常収益									
基本財産運用益									
基本財産受け取り利息									
特定資産運用益									
特定資産受取利息	220					220	220		
受取入会金									
受取入会金					63,500	63,500	63,500	127,000	新入会者 127名
受取会費					7,672,500	7,672,500	7,672,500	15,345,000	会員1,531名(平成27年度会費5名分含む)職域事業部のみ14名
受取会費					1,525,000	1,525,000	1,525,000	3,050,000	協賛会費 59社 61口
協賛会費									
事業収入									
受取受講料(会員)	37,500	1,771,400				1,808,900	1,808,900		生涯学習研修会 5日間分参加費他
受取受講料(会員以外)	43,000	160,300	129,000			332,300	332,300		研修会参加費、食育健康料理教室材料費
受取分担金		419,368	30,000			449,368	645,000	1,094,368	改善大会・食生活講演会・健康づくり提唱のついで、賞詞交歓会参加費
受取業務手数料			749,300	1,302,000	110,575	2,161,875	110,575	2,272,450	栄養ケアステーション事業、会費納入・封入手数料
受取事業協賛金	100,000	200,000	150,000			450,000		450,000	研修会、ホームページ他各種事業への協賛金
販売収益						0		0	
雑収益							120,000	120,000	総会・改善大会、記念祝賀会・賞詞交歓会他
受取補助金等						0		0	
受取補助金			270,000			270,000	65,000	335,000	ちば県民保健予防財団、地区会長会議、千葉市健康づくり大会
受取寄付金						0		0	
受取寄付金						0		0	
雑収益						0		0	
受取利息		185			57	242	58	300	受取利息
雑収益					7,550	7,550	7,550	15,100	
経常収益計	180,720	2,551,253	1,328,300	1,302,000	9,379,182	14,741,455	10,209,183	24,950,638	
(2)経常費用									
事業費									
給料手当	679,092	2,473,833	1,067,144	630,585		4,850,654		4,850,654	職員給料・手当
臨時雇賃金		64,675	89,000	7,000		160,675		160,675	繁忙期臨時雇入れ職員
退職給付費用	13,440	48,960	21,120	12,480		96,000		96,000	
福利厚生費	67,130	244,544	105,490	62,335		479,499		479,499	社会保険、労働保険、健康診断
会議費	74,333	276,683	219,070	20,365		590,451		590,451	
旅費交通費	246,747	735,886	279,319	160,591		1,422,543		1,422,543	
通信運搬費	173,267	1,002,968	126,803	42,390		1,345,428		1,345,428	栄養士会雑誌等送費含む
減価償却費	89,962	327,720	141,370	83,537		642,589		642,589	建物、什器備品
消耗品費	205,263	410,783	545,300	95,705		1,257,051		1,257,051	事務機器他消耗品
印刷製本費	414,571	266,886	73,800	11,475		766,732		766,732	封筒、振替用紙、入会案内他
光熱水料費	31,499	114,748	49,499	29,249		224,995		224,995	電気・ガス・水道料
賃借料	88,200	321,300	138,600	81,900		630,000		630,000	事務所地代
保険料	11,510	50,807	17,921	10,694		90,932		90,932	
諸謝金	161,486	1,351,727	675,851	895,720		3,084,784		3,084,784	生涯学習他講師等謝金
会場費	28,017	841,790	88,765			958,572		958,572	
リース料	40,535	147,665	63,698	37,640		289,538		289,538	事務機器リース料
食料費	122,081	138,617	27,565	772		289,035		289,035	
支払負担金	27,815	118,635	128,219	61,828		336,497		336,497	日栄参加費、防犯契約
渉外費		3,240		48,000		51,240		51,240	
表彰費				44,212		44,212		44,212	栄養改善奨励賞
修繕費						0		0	
租税公課	8,095	30,088	12,720	7,517		58,420		58,420	
支払利息						0		0	
消耗什器備品			16,700			16,700		16,700	
雑費	14,486	56,079	10,727	2,054		83,346		83,346	
事業費計	2,497,529	9,027,634	3,898,681	2,346,049		17,769,893	0	17,769,893	
管理費									
給料手当							1,212,663	1,212,663	職員給料・手当
臨時雇賃金								0	
退職給付費用							24,000	24,000	
福利厚生費							119,875	119,875	社会保険、労働保険、健康診断
会議費							517,660	517,660	改善大会含む
旅費交通費							241,178	241,178	
通信運搬費							287,678	287,678	電話料、メール便、切手
減価償却費							275,395	275,395	建物、什器備品
消耗品費							258,763	258,763	事務機器他消耗品
印刷製本費							1,591,551	1,591,551	栄養千葉、封筒、振替用紙他
光熱水料費							96,427	96,427	電気・ガス・水道料
賃借料							270,000	270,000	事務所地代
保険料							7,011	7,011	
諸謝金							562,579	562,579	税理士謝金
会場費							65,515	65,515	改善大会含む
リース料							124,088	124,088	事務機器リース料
食料費							944,280	944,280	総会、改善大会、新春賀詞交歓会
支払負担金							105,147	105,147	防犯契約、日赤ほかへの寄付
渉外費							194,392	194,392	
表彰費							21,468	21,468	
租税公課							24,780	24,780	
役員報酬							381,600	381,600	
雑費							77,963	77,963	
管理費計	0	0	0	0	0		7,404,013	7,404,013	
費用合計	2,497,529	9,027,634	3,898,681	2,346,049		17,769,893	0	25,173,906	
公益事業比率	9.4	33.6	14.5	8.9		66.4	33.6		

財 産 目 録

平成29年 3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表項目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金預金			
	現金	手元保管		
		現金	運転資金として	65,404
		職域事業部・	運転資金として	288,233
		千葉地域事業部現金		
	普通預金	千葉銀行みつわ台支店		
		普 2 0 0 6 5 7 6	運転資金として	279,857
		普 2 0 2 0 6 0 9	運転資金として	681,314
		普 3 1 9 2 7 0 0	運転資金として	30,619
		普 3 4 0 9 5 9 8	運転資金として	342,517
		普 3 0 0 6 2 9 9	運転資金として (千葉地域)	34,013
		千葉信用金庫作草部支店		
		普 0 6 8 2 2 4 2	運転資金として	321,709
		普 0 6 8 5 1 5 1	運転資金として	1,277,650
	普通貯金	ゆうちょ銀行		
		10580-15293221	運転資金として	50,139
		10570-30174421	運転資金として	1,000,629
		10530-10135981	運転資金として (公衆衛生)	109,811
		10520-49676711	運転資金として (医療)	167,238
		10550-52137101	運転資金として (集健)	10,129
	10520-54350591	運転資金として (地活)	30,000	
	10550-67084701	運転資金として (研教)	84,734	
	10540-39470871	運転資金として (学校)	248,691	
	10540-9029131	運転資金として (福祉)	229,987	
振替口座	ゆうちょ銀行			
	00110-7-779711	運転資金として	224,196	
	00180-2-94011	運転資金として	7,529,525	
	00180-0-576091	運転資金として	204,310	
		【現金預金計】	13,210,705	
未収金	社会福祉セミナー	社会福祉セミナー経費	174,000	
		【未収金計】	174,000	
前払費用	千葉県教育会館に対する前払額	栄養改善大会会場代の内金	10,000	
	セコムに対する前払額	防犯契約料4～6月分	70,956	
	千葉市文化振興財団に対する前払額	生涯教育研修会会場費	204,150	
	地主紅谷正男氏に対する前払額	地代4月分	75,000	
	千葉県教育会館他に対する前払額	各協議会経費の前払額	8,010	
		【前払費用計】	368,116	
流動資産合計				13,752,821
(固定資産)	基本財産			
	建物	115.7㎡ 千葉市若葉区殿台町1 2 2 平屋1階建	共有財産 うち公益目的保有財産 70.0% うち管理目的の財源 30.0% 【基本財産計】	9,850,977 9,850,977
特定資産	退職給付引当資産	ゆうちょ銀行	従業員の退職金の支払いに備えた 積立資産である。	2,046,190

貸借対照表項目		場所・物量等	使用目的等	金額
その他固定資産	医療機関栄養業務 実態調査預金	千葉銀行松ヶ丘支店	県内医療機関栄養業務実態調査事業 の積立資産である。	324,536
	全国公衆栄養活動 研究会預金	ゆうちょ銀行	全国公衆栄養活動研究会事業の積立 資産である。	600,000
	柴田顕彰会預金	千葉信用金庫作草部支店	栄養改善功労者を顕彰するための事 業の積立資産である。	3,303,831
			【特定資産計】	6,274,557
	什器備品	パソコン3台、金庫1台他	共有財産 うち公益目的保有財産 70.0% うち管理目的の財源 30.0%	74,708
	ソフトウェア 敷金・保証金	会計ソフト 紅谷正男氏に対する敷金支払額 紅谷正男氏に対する保証金支払額	敷金として 保証金として	202,954 150,000 150,000
		【その他固定資産計】	577,662	
固定資産合計				16,703,196
資産合計				30,456,017
(流動負債)				
	未払金	会報(3)総の便り発送費 社会福祉セミナー	日本郵便株式会社 社会福祉セミナー経費	17,130 139,200
			【未払金計】	156,330
	前受金	協賛会員からの前受金	協賛会費、バナー広告費として	0
			【前受金計】	0
	前受会費	会員からの預り額	平成29年度の会費および入会金の預り額 公衆衛生 53名分 医療 124名分 学校 40名分 福祉 101名分 勤労者支援 10名分 地活 99名分 研教 12名分	532,000 1,254,000 402,000 1,015,000 100,000 997,000 120,000
			【前受会費計】	4,420,000
	預り金	会員からの預り額 29年度分 職員、税理士他からの預り額 退会会員他からの預り額	日栄会費の預り額 412名分 源泉所得税の預り額 退会会員他に対する会費の返金分として	2,678,000 15,032 35,500
			【預り金計】	2,728,532
流動負債合計				7,304,862
(固定負債)				
	退職給付引当金	従業員に対するもの	従業員1名の退職金の支払いに備えるもの	2,043,670
			【退職給付引当金計】	2,043,670
固定負債合計				2,043,670
負債合計				9,348,532
正味財産				21,107,485

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物・・・法人税法に規定する定額法によっている。

什器備品・・・法人税法に規定する定率法によっている。

(2) 引当金の経常基準

退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において要支給額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理については、税込方式を採用している。

2. 基本財産および特定資産の増減額およびその残高

基本財産および特定資産の増減額およびその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
建物	10,645,038	0	794,061	9,850,977
小 計	10,645,038	0	794,061	9,850,977
特定資産				
退職給付引当資産	1,926,002	120,188	0	2,046,190
医療機関栄養業務実態調査預金	274,536	50,000	0	324,536
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	0	0	600,000
柴田顕彰会預金	3,343,799	32	40,000	3,303,831
小 計	6,144,337	170,220	40,000	6,274,557
合 計	16,789,375	170,220	834,061	16,125,534

3. 基本財産および特定資産の財源等の内訳

基本財産および特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
建物	9,850,977	0	(9,850,977)	0
小 計	9,850,977	0	(9,850,977)	0
特定資産				
退職給付引当資産	2,046,190	0	(2,046,190)	(2,046,190)
医療機関栄養業務実態調査預金	324,536	0	(324,536)	0
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	0	(600,000)	0
柴田顕彰会預金	3,303,831	0	(3,303,831)	0
小 計	6,274,557	0	(6,274,557)	(2,046,190)
合 計	16,125,534	0	(16,125,534)	(2,046,190)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次のとおりである。(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	17,262,213	7,411,236	9,850,977
什器備品	1,495,829	1,421,121	74,708
ソフトウェア	338,256	135,302	202,954
合 計	19,096,298	8,967,659	10,128,639

以上のとおり相違ありません。

平成29年 4 月15日

公益社団法人 千葉県栄養士会
会 長 長谷川 克 己 印
副会長 杉 崎 幸 子 印
副会長 鯨 岡 春 生 印

監 査 報 告 書

公益社団法人千葉県栄養士会
会長 長谷川 克己 様

平成29年 4 月15日

公益社団法人千葉県栄養士会

監 事 石橋 裕子



公益社団法人千葉県栄養士会

監 事 酒井 秀大



私たち監事は、平成28年 4 月 1 日から平成29年 3 月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法および結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法およびその内容

- (1) 各監事は、理事および事務局職員と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事および事務局職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務および財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。
- (2) 各監事は、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表および正味財産増減計算書）およびその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

- (1) 事業報告等の監査結果
 - 一 事業報告は、法令および定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
 - 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (2) 計算書類およびその附属明細書類並びに財産目録の監査結果
計算書類およびその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産および損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。